


1. 事業評価説明シート

事業名	地すべり対策事業(国補)	事業箇所	南巨摩郡身延町波高島	地区名	はだかしま 波高島	事業主体	山梨県
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 波高島地区は、以前より土砂災害が発生している地域であり、平成3年に地すべり防止法に基づく指定を受け、平成4年度から対策事業を実施し、平成23年度に対策工事が完了した地区となっている。 今回対策工事を実施する区域は、過去には地すべりの兆候が見られなかったため、対策工事は実施されていなかった。 しかし、近年斜面に滑動が見られ、上部に建つ住宅の基礎や外壁に亀裂など地すべりの影響と見られる事象が確認されており、地元では豪雨がある度に被災への不安を抱いている。 このため、地すべり災害から農地や農業用施設等を保全し、農地基盤を維持することはもとより、地域住民が安全で安心に暮らすことができるよう対策を講じる必要がある。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○地すべり被害の防止 ・保全対象 人家18戸 町道285m 緊急度・危険度 17≧10点 ※ (※評価基準値)</p> <p>□副次目標 -</p> <p>□副次効果 -</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地すべり等防止法に定める負担義務者がなく、極めて公共性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・地すべり等防止法第7条により県が実施主体となって実施すべきものである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 1.42 > 1.00 ・便益(B)=585百万円 ・費用(C)=411百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・多量の土塊移動を防止するため、地すべり対策工を実施し、土砂災害を未然に防止する。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・平成3年に農村振興局所管の地すべり防止区域に指定されているため、農村振興局地すべり対策事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・身延町より早期着工の要望あり。</p>					
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 アンカー工 160本、水抜工 1,620m 現場吹付法砕工 2,500m²</p> <p>②着手年度 平成30年度 ③完了見込年度 平成34年度</p> <p>④総事業費 約3億円 (国費1.5億円(5/10)県費1.5億円(5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費) 平成30年度 測量・設計 40百万円 平成31年度 アンカー工、現場吹付法砕工 70百万円 平成32年度 アンカー工、現場吹付法砕工 70百万円 平成33年度 水抜工、現場吹付法砕工 70百万円 平成34年度 水抜工、現場吹付法砕工 50百万円</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 地すべり対策事業 平成4年~13年 排水路 L=2,000m、水抜工 一式 255百万円 地すべり対策事業 平成19年~23年 排水路 L=731m、水抜工 一式 275百万円</p>		<p>【事業位置図等】</p> 					

2. 添付資料シート (1)



2. 添付資料シート(2)



①対策工予定地(上部保全対象宅地含む)



②頭部全景(急斜面頭部の遷急線、斜面肩部の沈下が明瞭)



③地盤の変位により建物周辺や壁面に亀裂が生じている。



④斜面法尻 小屋背面に崩土堆積



⑤水抜工(イメージ)